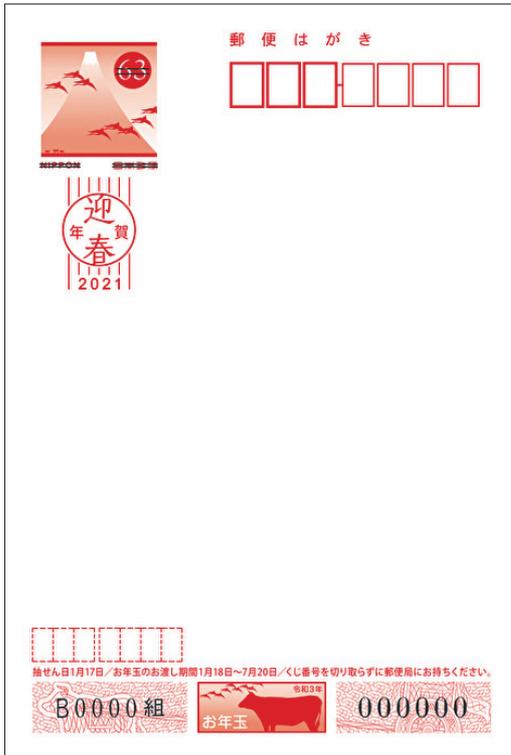


●年賀はがき(普通紙)



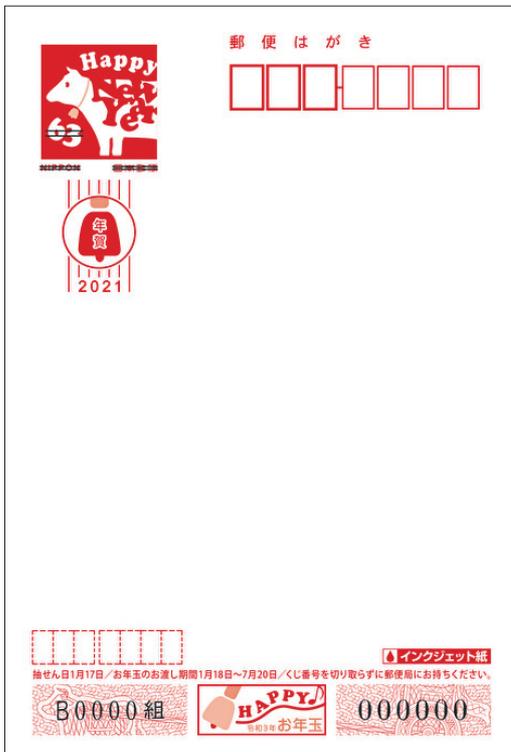
従来から使われてきた最もスタンダードな年賀はがき用紙

一般の官製はがきと同様の紙質で、手書きの文字が書きやすく、消しゴムで消しやすいことが特徴。

特に、鉛筆やシャーペン、万年筆など、先の硬いもので手書きをする場合には普通紙がオススメ

また、年賀はがき(普通紙)を印刷する場合、レーザープリンターやインクジェットプリンターでも綺麗に印刷することができる。

●年賀はがき(インクジェット紙)



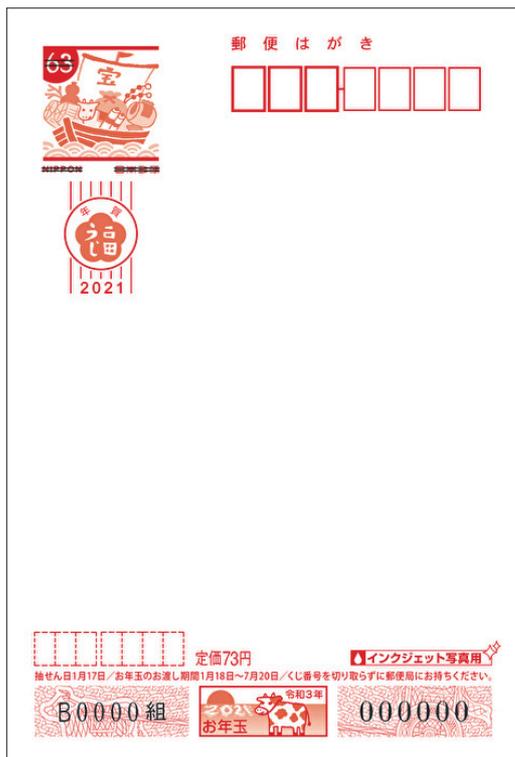
インクジェット式プリンターで印刷がしやすいように通信面(裏面)にコーティング加工が施されている用紙

インクの吸収率が高く、滲んだり液ダレなどしにくいいため、イラストや絵柄を印刷する場合に適している

また、普通紙よりも鮮やかで綺麗に印刷できるのが特徴

しかし、インクジェットはがきはレーザープリンターでの印刷には適していない
インクジェット用にコーティングがされていることにより、紙詰まりなどの給紙不良や定着不良の原因となり、プリンター本体の故障に繋がる可能性があるため、印刷時には注意が必要。

●年賀はがき(インクジェット写真用)



インクジェット式プリンターで写真が綺麗に印刷できる用紙

通信面(裏面)にフォトペーパーのような真っ白でツヤツヤとした光沢があり、「写真」そのままの品質で印刷できるのが特徴

インクが滲みにくい加工が施されているため、インクジェット紙とは鮮明度が全く異なり、ぼやける感じが無いので写真を印刷する場合に適している

ただし、加工により厚みが増しているため、プリンターによっては紙詰まりなども起きやすい
こちらも同じくインクジェット紙のため、レーザープリンターで印刷するとプリンター故障の原因に繋がるので注意が必要

あまり知られていないが、宛名面(表面)は普通紙もインクジェット紙も同じ紙質

インクジェットプリンターで印刷しやすいように加工されているのはあくまで通信面(裏面)のみで、宛名面(表面)は特別な加工は施されていない

なので宛名面(表面)だけを印刷する場合はインクジェットプリンター・レーザープリンターどちらを使っても印刷品質は変わらない。